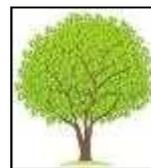


# みんなで作る大きなコリントゲーム

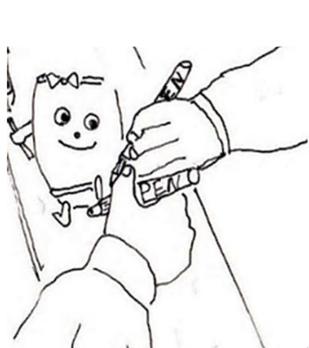


活動場所	実習棟 プレイルーム	自然の家にあるもの	のこぎり、金づち、くぎ抜き、ボンド、長いす、木の実等
所要時間	1.5 時間	利用者で用意するもの	くぎ、輪ゴム、ポスターカラー ビー玉
人数	100 名程度	服装	軍手

くぎの打つ数や場所、飾りつけをどのようにするか班のなかまと話し合い、長さ 2 m の巨大なコリントゲームをつくる活動です。人工材だけでなく、自然の家周辺に落ちている枝や木の実をふんだんに使い、葛川ならではの作品に仕上げることができます。

ここ自然の家では音も気にせず子どもたちにたくさんくぎ打ちをさせることができ、楽しみながら一人一人が確実にくぎ打ちの技能を身につけることが可能です。

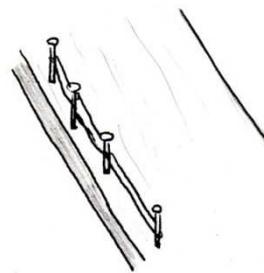
## みんなで作るコリントゲーム



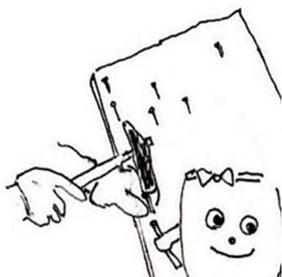
①絵の具やペンで板にもようや絵をかきます。



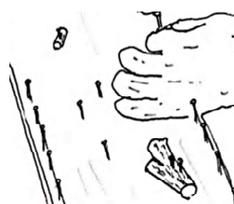
②ビー玉が出ないように、板の周りにくぎを打ちます。



③②で打ちつけたくぎとくぎの間に輪ゴムをつけます。



④ビー玉がくぎにコンコンあたるよう色々な場所にくぎを打ちつけます。



⑤自然の家にある木の実や枝、学校から持ってきたかざりつけをくぎで打ちつけます。



⑥ビー玉の転がり方をためしながらくぎの打つ場所や数をちょうせいしましょう。

### くぎの打ち方

くぎはまっすぐ立てる。

①打ち始めは、えのくびれあたりを持って、軽く打つ。

②打ちこむときは、えじり近くを持って打つ。

### くぎのぬき方

くぎぬき(パール)

ペンチ

木切れをささえにしてぬく。

ペンチを使う方法もある。ペンチで左右にねじりながら、上に引きぬく。

※図画工作3・4上(開隆堂)より

### とくに大切なこと

- ①くぎを強く打ちすぎてしまうと杉板からくぎが出てしまいます。打ちすぎに気をつけましょう。
- ②使い終わった道具はもとの場所にもどしましょう。
- ③班の友だちと話し合っって楽しいコースをつくりましょう。

## 1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・杉板や金づちの特徴について知り、安全で適切な扱い方について身につけることができる。	図画工作	4年「使ってみよう ざいりょうと用具」
・間伐材を加工し、作品にすることで間伐材について理解し、そこから森林について様々な角度から探求しようとする。	総合的な学習	「環境」

## 2. ポイント

### ア) 活動前

- ・杉板 大（2m）を自然の家で注文し、くぎ（1作品300本程度）や輪ゴム（1作品70本程度）、飾りつけで使うペットボトルキャップなどは各自持参する。
- ・杉板 大（2m）であれば最大6人で活動ができる。
- ・室内（プレイルーム）、室外（実習棟）ともに実施することができ、最大それぞれで3クラス（100名程度）実施可能。それ以上の人数の場合は時間差で活動することも可能。
- ・くぎを打ち過ぎて、杉板から出ないように指導する（床を傷つけたり、怪我をしたりしないよう）。

### イ) 活動中

- ・ビー玉が上手く転がるように実験したり、改良したり、班の仲間と考え合う時間をあらかじめ設定しておく。
- ・作った作品を他の班の作品と比較したり、自然の家のホールに置いたりして交流を深めるようにする。

### ウ) 活動後

- ・使った道具はもとの場所に戻すよう指導する。
- ・プレイルームを使った後は、くぎが落ちていないか指導者で十分に確認する
- ・長椅子を戻す際には、指導者が置場にて指導する。
- ・作品は参加者団体に持ち帰ること（のこぎりで分けて子どもたちに持ち帰らすことも可能）。

## 3. 安全対策について

--